

地域社会との緊密な連携を築く

地域と一体となって子どもを育てるPTA活動

東海市立明倫小学校PTA

1 はじめに

本校は、知多半島北西部の東海市に位置している。市内の臨海地区に集まる鉄鋼関連の企業の集団住宅地開発に伴う人口や児童数の増加に対応するため、昭和44年に開校した。一時は児童数が1,000名を超えていたが、徐々に減少していき、現在は児童数214名の小規模校となっている。

明倫小学校の名前は、米沢藩主であった上杉鷹山公の師として知られる細井平洲先生が、本地区の出身であり、尾張藩が創立した学校「明倫堂」の初代校長でもあったことにちなんで付けられた。細井平洲先生の教え「先施の心」（せんし）「学思行相須つ」（がくしこうあいま）は、日頃の児童への指導にも生かされている。学校の近くには平洲記念館もあり、出前授業や校外学習で児童に細井平洲先生の生い立ちや功績を分かりやすく紹介してもらい、地域の偉人である細井平洲先生に親しませる取組をしている。



【学校周辺の様子】

2 研究への取組

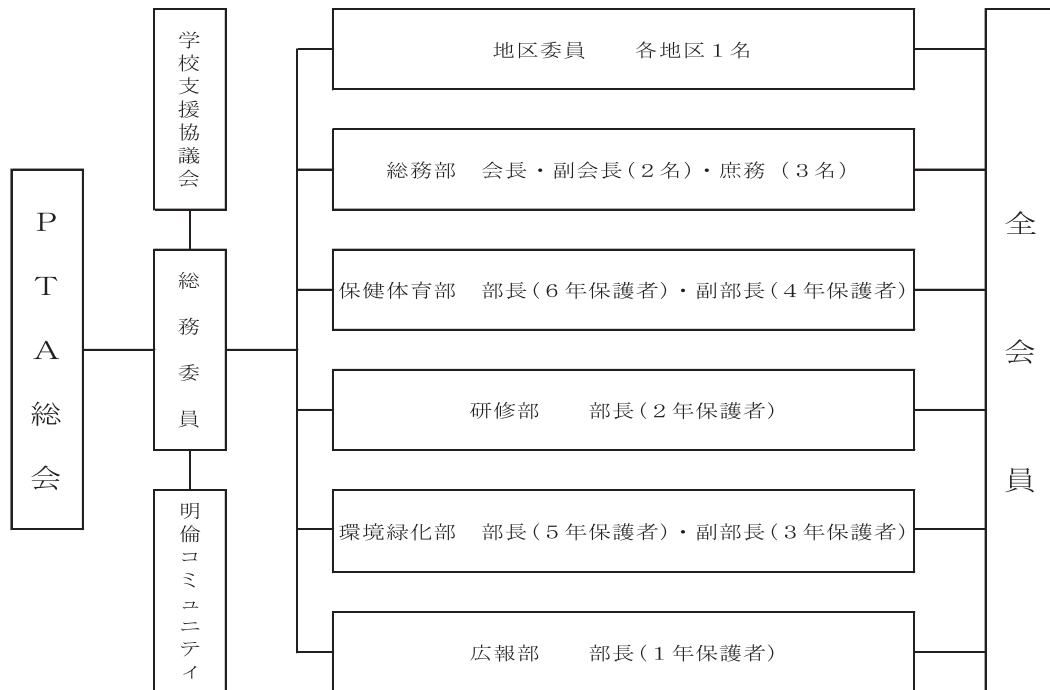
(1) 研究のねらい

本校の近くには大規模な集合住宅地があるが、子育て世代の居住率は低いようで、そこから通学する児童はわずかである。周囲には畑や果樹園、雑木林が多く、民家は少ない。児童のほとんどは、学校からやや離れたところにある住宅地に居住している。明倫コミュニティでは、世帯の減少や高齢化が進み、入会している町内会・自治会のうち本校周辺の4地区が休会状態となってしまった。

学校の近隣住民、とりわけ学校と関わりをもつ住民が少ないということは、日常の学校生活の様子を垣間見ていただく機会が減り、学校への関心も薄くなってしまふ懸念がある。関心の薄さは、学校と地域の間に関心を生み出す要因となる。そうなれば、いざというときに学校と地域が協力・連携をして活動することは困難となってしまふ。

そこで、本校PTAではこのような状況に危機感を感じ、明倫コミュニティとの協力・連携体制を強め、地域住民に「おらが学校」という意識で、授業や行事を始めとする学校教育活動に積極的に参画してもらふ取組を展開することにした。

(2) 研究の組織



3 実践活動の概要

(1) 児童の安全・安心（顔見知りの関係をつくる）

① 登校時の交通当番・下校時の見守り隊

P T A地区委員が中心となり、本校児童の全世帯を対象とした登校時の交通当番表を作成しており、登校時には、当番の保護者や学校支援協議会の委員が通学路の主要交差点に立ち、児童の横断時の安全確保をしている。

下校時には、明倫コミュニティのシニアクラブを中心に組織された「見守り隊」が、児童の交通安全や不審者対策のために自宅付近の通学路に立ち、声かけなどを行っている。

② 富木島中校区あいさつ運動

本校児童の主な進学先である東海市立富木島中学校の校区全域を拠点とする「地域・P T Aボランティア委員会」主催の「富木島中校区あいさつ運動」を各学期に1回ずつ行っている。P T Aからは保健体育部を中心とした保護者や教職員、児童会役員の児童や生徒会役員の生徒など、地域からは学校支援協議会の委員や



【通学路でのあいさつ運動】

民生・児童委員などが参加し、登校中の児童生徒と元気でさわやかなあいさつを交わしている。

(2) 学校環境の整備（学校に愛着をもってもらおう）

① 花壇の整備活動

本校の校地は学校規模の割には大変広く、花壇や緑地帯も多い。そのため、教職員だけでは手入れや整備が追いつかず、業者依頼をするにも年間予算に限りがあり、思うようにはいかない。そこで、花壇を3区画に分け、それぞれを学校花壇・P T A花壇・コミュニティ花壇として整備することにした。学校花壇は児童会（環境緑化委員会）主体で整備、P T A花壇はP T A（環境緑化部）主体で整備、コミュニティ花壇は明倫コミュニティ（花壇整備ボランティアやシニアクラブなど）主体で整備している。

活動日は年間を通じて10日ほど設定し、種まき、花芽のポット移植、花苗の花壇への定植、花壇整備などを行っている。花壇を3区画に分けてはあるものの、活動日にはお互いに協力しながら全部の花壇の手入れを行うなど、立場を越えた繋がりが生まれている。また、活動日以外にも自主的に来校し、花壇や緑地帯の整備をしてくださる地域の方もいらっしゃる。

令和3年度は、東海市花壇コンクールの学校花壇の部で、春は最優秀賞、秋は優秀賞、P T A花壇の部で、春秋連続で努力賞を受賞することができた。



【花壇コンクールに向けた整備】

② 草刈りボランティア

昨年度からコロナ対策や夏の熱中症対策として、運動場での児童の活動に制限をかけざるを得なかった。児童が運動場を走り回る機会が激減したことで、運動場に雑草がはびこってしまった。学校支援協議会の席上、学校の近況報告の場で伝えたところ、草刈りボランティアとして除草作業に協力をするという申し出を受けた。そこで、令和2年9月26日（土）に「第1回草刈りボランティア」を開催し、P T A会員とともに参加者44名で運動場の除草作業を行った。



【草刈りボランティア】

令和3年度は、明倫コミュニティの地域清掃活動が中止となり、その代わりに学校で奉仕活動ができないかという申し出を受けた。そこで、各町内会・自治会から数名ずつの参加を得て、除草作業と運動場の整地作業を行うことになった。令和3年9月25日（土）にP T A会員や学校支援協議会の委員とともに参加者77名で「第2回草刈りボランティア」を開催した。地域の方たちがエンジン刈払い機を持ち寄ってくださり、効率よく運動場周辺の茂みを刈り取ることができた。

また、軽トラックで車両兼引用レーキを引いていただき、運動場をきれいに整地することができた。

(3) 学習活動の支援（地域の方に対する児童の敬意の気持ちを育む）

① 5年生総合的な学習の時間「食について考えよう～米作りを通して～」

校地の一角には1アールほどの水田があり、毎年、5年生が稲作体験をしている。本格的な水田での栽培のため、専門的な知識をもつ方の支援が必要不可欠である。そこで、地域の稲作農家の方にアドバイザーになっていただき、授業や実地作業の指導、用具の借用、生育状況のチェックをお願いしている。令和3年度も順調に稲が生育し、稲刈りと脱穀を無事に終えることができた。



【鎌を使った稲刈り】

② 6年生総合的な学習の時間「見つめよう自分の未来」

キャリア教育の一環として、児童の興味関心が高い職業について、職業講話を実施している。できるだけ児童の思いに応えようと、PTA・学校支援協議会・明倫コミュニティの人々の繋がりを最大限に生かして講師をお願いできる方を探している。令和3年度は、建築家、看護師、パティシエ、警察官、消防士、実業団バレーボール選手兼監督の方々に講話をしていただいた。



【消防士さんの講話】

③ サポート読み聞かせ

水曜日の朝の帯時間に読書タイムを設定している。そのうち毎月1回は「サポート読み聞かせ」の日とし、学校支援協議会や明倫コミュニティの読み聞かせボランティアの方に、各教室で読み聞かせをしていただいている。

④ その他

令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大のため中止となってしまったが、例年、本校の運動会は「ふれあい合同運動会」と名付け、明倫コミュニティとの合同運営で盛大に開催している。

4 おわりに

新型コロナウイルスの感染拡大は、地域社会との連携をさらに推進しようとしていた本校PTAにとって大打撃であった。会議の書面開催や学校ホームページからの情報発信をしても、お互いの顔が見えないやりとりは、心のディスタンスまで広がってしまったように思えた。顔を合わせることで、互いの世界を行き来することは、連携を深める上で重要であると再認識した。感染症対策の工夫により、開催可能な交流活動を増やしていきたい。